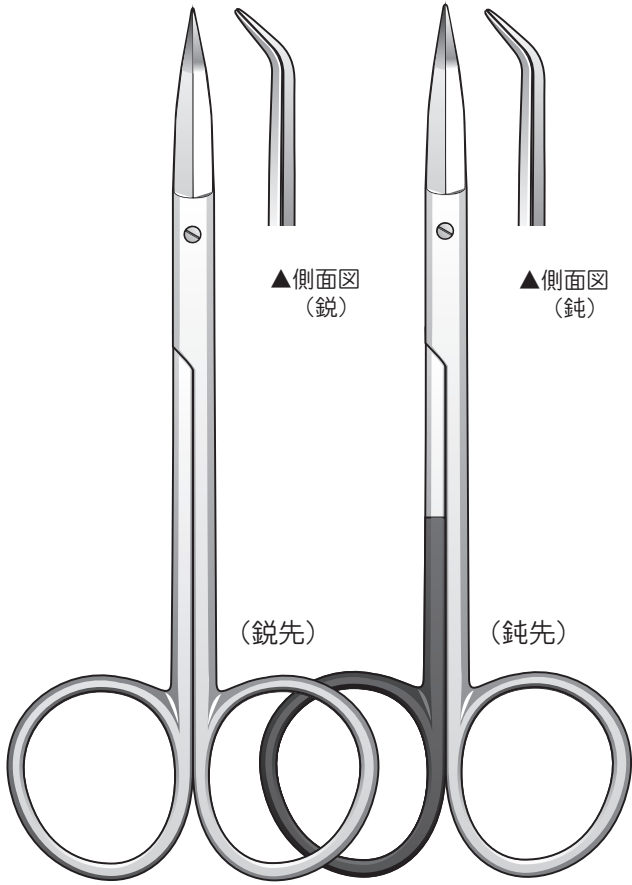


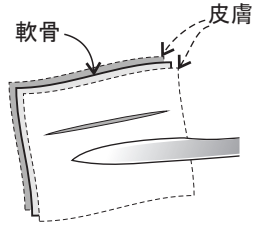
手術

●JB950 (カルティレージセット)

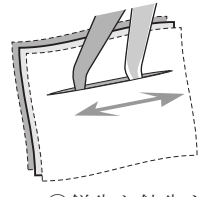
○カルティレージ剪刀 (鋭・鈍)



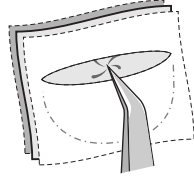
※ 刃先の外観では判別しにくいいため
 鈍先の片リングを黒くしてあります。
 ※ 刃先は両刃仕上げです。



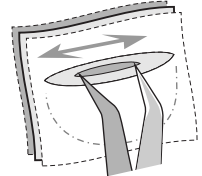
①メスで皮膚に切込み
 (手術切開層から採取する
 場合はこの工程は不要)



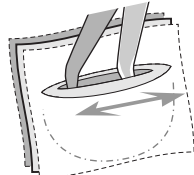
②鋭先と鈍先を
 使い分けて
 皮膚剥離



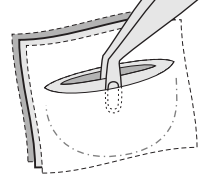
③鋭(あるいは鈍)先で
 軟骨に切込み



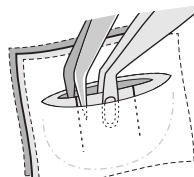
④先端両刃部を利用して
 往復開閉で軟骨切開



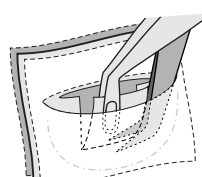
⑤軟骨裏面を剥離
 皮膚突破に注意



⑥遊離した軟骨を
 鑷子で把持

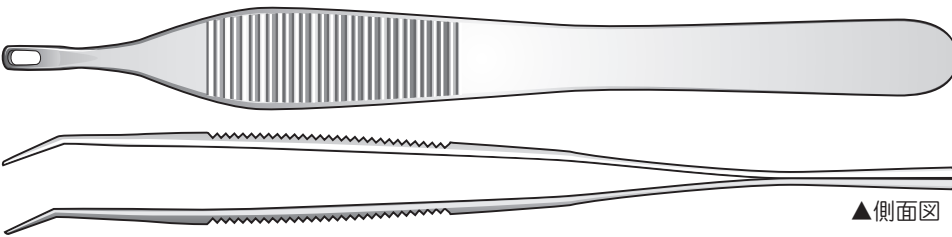


⑦鋭(あるいは鈍)先
 で切り



⑧底辺が切りやすい
 のも特長

○カルティレージ鑷子 ※ 軟骨採取時の把持およびスライス補助。軟骨面に対して低侵襲に採取することができます。

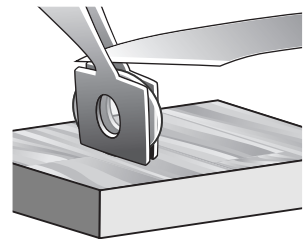


※ 先端把持面は綾目加工
 (クロスハッチング)

●カルティレージ鑷子 (先端部10mm×10mm) ※オプション別売品 JB953a



※ 先端部が約1平方センチメートルで、
 大きな軟骨の薄切に適しています。



※ スライス時は軟骨を
 鑷子で強く把持し、
 尖刃メスで垂直方向に切る
 (メスは別途ご用意下さい)